

『 保 健 』 シラバス

科 目 名	学 科	学 年	必修 / 選択	単 位 数
保 健	全学科	2 年	必 修	1 単 位

1. 科目目標と使用教材

科目目標	個人および社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てるとともに、健康的な社会環境づくりが実践できるようにする。
使用教材	教科書：現代保健体育（大修館書店） 資料集：現代保健ノ・ト（大修館書店）

2. 学習計画

学期	学 習 項 目	学 習 目 標
1 学 期	1. 思春期と健康	・ 思春期における体の発達の特徴と、行動・心理面の特徴を理解する。
	2. 性意識と性行動の選択	・ 性意識に関する男女の特性、性に関する情報の行動への影響とそれらへの対処について学習します。
	3. 結婚生活と健康	・ 健康な結婚生活について、心身の発達や本人・家族の保健の立場から学習します
	4. 妊娠・出産と健康	・ 受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について学習します。
	5. 家族計画と人工妊娠中絶	・ 家族計画の意味と、その手段としての受胎調節の方法を知るとともに、人工妊娠中絶とその問題点について学習します。
	6. 加齢と健康	・ 加齢現象と生活習慣とのかかわりを理解し、中高年期の健康なすごしかたについて学習します。
	7. 高齢者のための社会的とりくみ	・ 高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策について理解し、保健・医療・福祉の連携の意義と総合的対策の必要性について学習します。
2 学 期	8. 保健制度と保健サービスの活用	・ 保健行政の役割としくみについて理解し、保健サービスの内容と活用法について学習します。
	9. 医療制度と医療費	・ 医療保険のしくみと医療費の負担について理解し、高齢化の進展にともない医療費の高額化等医療保障のありかたについて学習します。
	10. 医療機関と医療サービスの活用	・ さまざまな役割をもつ医療機関について理解し、適切な医療サービスの活用について学習します。
	1. 大気汚染と健康	・ 大気汚染はどのようにおこり、どのように汚染物質が健康へ影響するかを学習します。
3 学 期	2. 水質汚濁と健康	・ 水質汚濁はどのようにおこり、どのように汚染物質が健康へ影響するかを学習します。
	3. 土壌汚染と健康	・ 土壌汚染はどのようにおこり、どのように汚染物質が健康へ影響するかを学習します。
	4. 健康被害の防止と環境対策	・ 環境汚染の防止と改善について理解し、産業廃棄物の処理と健康について学習します。
3 学 期	5. 環境衛生活動のしくみと働き	・ 上下水道の整備の現状およびし尿処理の現状を理解し、環境汚染を防ぐためにはどうあるべきかを学習します。
	6. 食品衛生活動のしくみと働き	・ 食品の衛生管理のために、行政および製造・生産者がおこなっている対策について学習します。
	7. 食品と環境の保健と私たち	・ 食品の安全性を確保するため、およびごみによる環境汚染を予防するために私たち消費者の役割について学習します。
	8. 働くことと健康	・ 働くことと健康のかかわりを理解し、仕事の仕方や職場環境の変化にともない、働く人の健康問題がどのように変化しているか学習します。
	9. 労働災害・職業病と健康	・ 労働災害・職業病の発生原因とその予防対策について理解し、職場における健康管理の必要性について学習します。
	10. 健康的な職業病	・ 健康増進対策について、職場におけるとりくみと、日常生活におけるとりくみについて学習します。

3 . 学習方法

高等学校の保健の授業は、これまでの小学校や中学校で学んできた基礎・基本の内容にくわえて、座学による知識注入はもちろんのこと、課題解決学習を積極的に取り入れ、将来、生活等で様々な問題点に直面した場合、自分達で考え問題点を解決していく能力を身につけさせることを考えています。

4 . 評価の観点

関心・意欲・態度	・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自らの健康で安全な生活を実施するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
思考・判断	・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。
技能・表現	
知識・理解	・健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康および社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基本的な事項を理解し、知識を身につけている。

5 . 成績評価

1・2学期	中間	~~~~~中間考査は行いません~~~~~				
	期末	定期考査 (素点)	平 常 点			
			提出物	授業態度	出欠	
		70 %	10 %	10 %	10 %	%
3学期	学年末	定期考査 (素点)	平 常 点			
			提出物	授業態度	出欠	
		70 %	10 %	10 %	10 %	%

6 . 生徒の皆さんへ

授業は、休まないことが第一です。教科書・保健ノートを忘れないように、毎時間の学習活動を意欲的に行って下さい。なお、授業中の態度(私語・居眠り等)・ノートやプリント等の提出物、定期考査が大きなウェイトを占めますのでしっかり学習してください。

全授業時数の1/3以上の欠課があった場合は欠点となるので、健康に気をつけ、授業を休まないようにして下さい。